

令和のお祝いムードと10連休で賑やかだった日々も落ち着きを取り戻し、またいつもの日常が戻ってきました。皆さま方はいかがお過ごしでしたか？日頃はサーバス活動にご理解、ご協力をありがとうございます。

今年の連休は旅行などの計画はせず、その代わり毎日いろいろなところへ出かけていました。世界遺産のある宗像でのサイクリング、芦屋（遠賀郡）の浜辺に沿ってのウォーキング、平らな道なので知らず知らずの内に10Km以上も歩いていました。ドイツビールのオクトーバーフェスタやミステリー1日バスツアーなど。こんな過ごし方もいいなあと思いました。

4月20日には支部会議を福岡で行いました。福岡を始め宮崎、長崎、佐賀、大分から15名の方々がご参加くださいました。遠いところをありがとうございました。会議の内容は下に記します。

さて、日本サーバスでは本部役員の異動があり4月から会長および副会長・会計の三役業務は近畿支部が受け持つことになりました。H.T.会長のもと新しい体制でスタートしました。それに伴い九州支部から出えていただいていたN.M.顧問（佐賀）、O.T.会長（長崎）、N.S.IT委員長（宮崎）が退任されました。今まで日本サーバスのために大変ご尽力いただき心よりお礼申し上げます。なお、N.S.さんはIT副委員長に、またユース部会長にはN.Y.さん（福岡）が就任されました。新しい陣容で日本サーバスが益々発展することを祈っています。

サーバス九州支部会報184号（2019年5月号）をお届けします。

掲載している内容は以下の通りです。

1. 支部会議を行いました。
2. サーバス旅行レポート
3. 支部会員情報
4. 支部からのお願い
5. 支部連絡先（場掲）



支部会議



懇親会

1. 支部会議を行いました

日 時：2019年4月20日（土）14:00～16:30 福岡市中央区「あいれふ」にて

支部会議後懇親会 17:30～20:00 博多駅横 Kitte 「菜な」にて

支部会議の内容は

○ 年会費の納入について

年会費は年度当初の1月31日までに納めて頂くようお願いしています。サーバスの会計年度は1月から12月です。

本部への拠出金は3月31日現在の在籍数で1人当たり860円を本部に納めることになっています。納入が遅くなりますと会計上不都合が生じますのでご理解いただきますようお願い致します。

○ 面接担当者（新入会者にお会いしてサーバスの事を説明する方）

下記の方々に面接担当をお願いしました。

前執行部：N.M.さん O.T.さん N.S.さん

大分県連絡担当：K.T.さん

現執行部：T.Y. H.S.

どうぞよろしくお願ひします。

○ 秋例会について

今年は東アジア会議が7月にモンゴルで開催されます。その会議（ミーティング）に九州支部から6名参加しますのでそれを秋例会の代わりにしようということになりました。従って今年は秋例会はおこないません。ご理解ください。

○ イギリスでの semi-SYLE 体験。

6週間に亘る大学4年生の娘さんがサーバス語学研修を体験されました。その娘さんの体験を会員であるお母さんに映像を使ってお話しして頂きました。ご本人の体験談は「サーバス旅行レポート」に載せていますのでご覧ください。

○ 「九州支部内トラベラー受け入れ予定」について

サーバスのホームページ（九州支部会報の一番下）に支部独自の項を設けています。

活用して頂くようメールや会報でお知らせしていますが活用が少ないようです。新しい試みですので活用して頂き、皆様のご意見をお聞きしたいです。使い方が分からない方はT.までお知らせください。

○ 「この指と～まれ」の提案

支部会議の合間や懇親会の中で「気軽にどこかに行きたいけど、なかなかチャンスがないよね。誰か計画してくれないかなー」という声が出ていました。それで、「行きたい人この指と～まれ」で気楽に交流できる場があってもいいのではないかと思っ、支部長から思いつきの提案

をします。

一人で行くにはちょっと躊躇するけど、どなたかご一緒される方があれば行ってみたいなー・・・と思われたら会員の皆さんにお声かけしてみられたらいかがでしょうか？

「この指と～まれ」のお誘いの声を発していただければ、支部長から会員さんにお寄せいただいたメールを送信します。興味を抱かれた方が「反応」していただければいいのです。会員はどなたでも「この指と一まれ」を発信していただいて結構です。支部活動ではありませんので、報告やレポートもいりません。

内容は指にとまった方々で話し合ってお決め下さい。たとえば、「奄美大島に行ってみたいなー」「屋久島にご一緒しませんか？」「由布岳登ってみたいなー」「久住に行ってみたいなー」「夜神楽みたいなー」「鉄道ローカル線の旅をしてみたいよね」「対馬に行ってみない？」「直島美術館ってすごいらしいよ、行かない？」等々。気楽に交流を楽しみませんか！

2. サーバス旅行レポート

1. 「フランスの旅」その3

2018年7月28日～8月1日

福岡県 T.N.

次の訪問先はSさんです。Sさんとはなんとお知り合いです。それもサーバスではなくエスペラント語学習のかつてのお仲間ということで距離にすると100キロ近くも離れている方々なのにびっくりでした。Lさんは高校のドイツ語の先生をされていたそうでドイツ人もあまり使わない難しい単語をたくさんご存知で12歳の猫と二人暮らし。

75歳とのことですがなんと精神的に毎日あちこち案内してくださり歴史や地質学的なことにも精通されていらっしゃいました。

お祖父さんはイタリア人のパン職人でフランスに移住してきてお父さんも高校の先生をされていたとのこと、インドや中央アジアにも長期で滞在されたことがあるとのことではほぼベジタリアンでした。食事の量も少なくもちろん私には十分に美味しいものでもてなして下さるのですがご自分はずっとお話しをされていてほとんど召し上がらない。なのに連日車を飛ばして酷暑の中案内していただいても疲れを知らないというかとてもお元気でただただ驚くばかりでした。

フランスでは小さな村の人口が減って荒廃してしまった街を観光で蘇らせよう、ということで1)人口が2000人以下、2)歴史的な史跡や町並みが美しく手入れされ、3)少なくとも2つ以上歴史的な価値がある建造物が残っている村々に1982年から「フランスで最も美しい村」の登録をして観光資源として応援しています。フランス行きが決まってから北九州の図書館でフランス滞在中に「美しい村」を実際に巡って写真&エッセイ集出版されている本を手にする機会がありリストをコピーして持参していたのですが彼女の住む街はトゥレンヌ (Turrenn)という「フランスで最も美しい村」に登録されている美しい村でしたが一方で「おかしいわねえ、この街が載っていないなんて。」とつぶやきながらリストを見つめていました。

Lさんのお宅には4泊滞在させていただきました。ドイツがとてもお好きなようで現役時代フランスとドイツの生徒の交換学習でドイツに引率した話やドイツの高校でフランス語を教えた話を懐か

しようにしてくださいました。そして「まだまだ見せてあげたいところがたくさんあるからまたいらっしやいね！」と送り出してくださいました。

8月1日水曜日

フランス5軒目のお宅は今回で3回目となる M.さんです。2011年に日本4週間の一人旅をされた際にわが家を訪ねてくださりその年の夏に私がお邪魔しその後2014年に再訪していますが、今回は久しぶりの再会が楽しみでした。ただ公共交通機関がほとんどなくこれまでも最寄りの駅か空港から車で40キロくらい離れている所をお迎えに来ていただいていたのですが L.さんと M.さんが電話で相談してくださってちょうど中間地点くらいで落ち合って私を引き継いでくださるというお二人のご親切にすっかり甘えてマリアヌさんのお宅に辿りつきました。

「元気だった？」と最近の出来事を彼女が話してくれたのを聞いて驚きました。

M.さんは昨年3月に乳がんが見つかりすぐに手術をしたそうです。もうすっかり良いのだそうですが「自分を試してみたくてこの冬はタイに3週間、その後韓国に4週間行ったのよ」なんと！韓国までいらしたのなら日本まで足を伸ばしていただければよかったのに、、タイではお友達宅に滞在されたそうなのですが韓国はサーバスメンバーに会おうとあちこちにメールを送ったそうなのですがお返事がもらえなかったりでどうなることやら、面白くなかったら N.のところに行けばいいや（笑）という見切り発車気味だったそうなのですが韓国のコーディネーターが現地で色々アレンジして下さりたくさんのメンバーのお宅にお邪魔することができたそうです。

7年前に日本に来た動機も「これまでアジアの色んな国を訪ねていたけれど何故か日本にはご縁がなく足が悪くなって手術をすることになった時手術が失敗すれば車椅子の生活になるかもしれない、状態だった、それがうまく行って自分の足で歩けるのなら今までしたことのないことにチャレンジしたいって思って日本に来たのよ」と話してくれた時にすでに70代前半だったはずです。チャレンジすることを楽しんでいる彼女は本当に素敵です。

2. SYLE プログラムで満喫したイギリス文化

福岡県トラベラー会員 M.S.（現東京在住）

2019年1月8日から2月21日、自身の大学四年次に Servas の SYLE プログラムを通してイギリスで過ごした1か月半は、私にとってかけがえのない経験になりました。

「大学卒業までにひとりで外国に行ってみたい」。何となく思っていたことを母に伝えたことが始まりでした。前年に母が Servas 会員になったことから、私は SYLE プログラムのことを知りました。

「出会い」、「クロスカルチャー」、「コミュニケーション」など、そのプログラムでは単なる旅行で味わえない経験ができるとわかり、初めてのホームステイに挑戦してみたいと思いました。そこからは Servas Britain 会長の R さんとメールのやり取りで、日程調整や現地の情報収集を行いました。

「一つの地区に留まるのではなくせっかくの機会なので色々な場所に行きたい」という思いを伝えたところ、R さんから各都市13軒のホストファミリーを紹介していただきました。

London から Manchester 経由で Scotland まで北上し、Newcastle、York を通ってまた London

に戻って来るという、小さく国内一周をするプランでした。それぞれのホストファミリーともまた、同じようにメールのやり取りをしながら、当日の服装を互いにメールで伝えて、駅で初対面するスタイルで各地を回りました。

どのホストファミリーもとても親切で、日本から一人で来た私に、無償でもてなしてくださり、旅のサポートをしていただきました。(観光プランを決めたり、次の目的地でホストしてくださる方へ前日に連絡を取ってくれたりなど...) 皆さんが温かく迎え入れてくださり、一人旅なのにひとりではないと思う瞬間ばかりでした。中でも思い出深い出来事は、London 近郊地区の St.Albans から Wellington への移動の際、電車を降り過ぎ (バスを含め次の停留所のアナウンスがないケースも多い) 乗り換えた便が急に止まったりで、3 時間以内の移動が、倍以上の 7 時間かかってしまいました。

気疲れとストレスを抱え、やっとの思いで駅へ着くと、L さんと R さんが出迎え、私の身を心配してくれて、その晩は日本食のレストランへ連れて行ってくれました。翌日の食事の際は、彼らは箸で、私はナイフとフォークを使っていることに気づき、可笑しかったと同時に日本の文化に興味を持ってきていることにとっても嬉しくなりました。

その他にも、Scotland 発祥のケリーダンスを踊るパーティーへ参加したり (R さん、D さん)、毎日イギリス映画を字幕なしの英語音声だけで鑑賞したり (J さん)、デモンストレーションに参加して (L さん、P さん) 考え方の多様性を感じたりなど、毎日が新鮮でした。(思い出は書き出すと切りがないのでこのぐらいにします。) よく一人でも美術館へ行きイギリスの歴史や文化を学びました。大学でイギリス文化のゼミナールに所属していた私にとって、机上の議論だけでは知りえなかった情報がたくさんありました。

次に、SYLE プログラムを通して感じた私自身の変化についてです。今回の渡航理由のひとつとして、以前の自分へのリベンジがありました。大学一年次に友人と短期でフィリピン留学をしました。当時は団体行動で、つい日本語ばかり使ってしまう日々、食べ物・考え方の異文化を受け入れられない部分もあり、それがストレスでした。今回は一人だったので、何をするにも自らの行動や英語が必要でした。自分の意思を持ち、それをきちんと発信しなければ何も始まりませんでした。特に予定がない日は、お話を楽しんだり、近所の散歩について行ったりなど、ゆっくり過ごす日もありました。おかげで今回は多くの異文化に触れることができました。そのような部分を楽しめるようになったことが、大学時代を通しての成長、リベンジ達成になったと思っています。

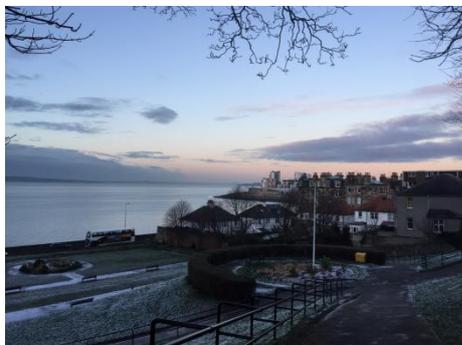
旅の最初と最後に R さん宅にお世話になりましたが、一か月半で自分でも驚くほどリスニング、スピーキングができるようになってきていると実感することができました。ネイティブスピーカーと毎日色々な会話をするので、その都度新しい発見をしながら自身の英語力も上達できました。これもまた Servas の大きな魅力だと思います。

4 月から社会人生活がスタートしました。仕事柄英語を使うことがないので、この旅行が最後かと思っていましたが、趣味程度でも英語に触れ続けていこうと思い現在方法を模索しているところです。これからの人生の中で、この SYLE 旅行の経験よりもさらに濃い思い出が作れるように、今後も頑

張っていきます。ありがとうございました。



〈イギリス縦断の旅（13軒のホスト）〉



〈Edinburgh 近郊の港 New Haven 海景色〉



〈スコットランド、ロッキノックにて〉

3.支部会員情報

新入会員 0.A.さん 福岡市

支部会員数	45 家族	福岡県	12 名	佐賀県	4 名	長崎県	8 名	熊本県	4 名
		大分県	11 名	宮崎県	5 名	鹿児島県	1 名		
休 会	2 名	熊本県	1 名	宮崎県	1 名				

4.支部からのお願い

(1) レポートについて

サーバス旅行や、トラベラーの受け入れをされた場合はその時の写真やレポート（簡単なコメントでも結構です）をお送りくださるようお願いいたします。会報に掲載させていただきます。

(2) トラベラー受け入れ報告

トラベラーを受け入れた場合はその都度日本サーバスのホームページ上の「トラベラー受け入れ報告」より入力ご報告ください。入力報告の内容は自動的にメールでご自分の元に届きます。皆さまのご協力により、去年報告をされた方はほぼ全員ホームページ上での報告でした。今後ともよろしくお願ひ致します。

5. 支部連絡先（常掲）

発行日：2019年5月12日（184号）

発行者：サーバス九州支部長
T. M.

住所： 福岡県

【会費、認定料等の送金は以下にお願いします】

- 郵便口座をお持ちでしたらその口座からサーバス九州事務局の郵便口座へは送金手数料無料で振り込みできます。

記号：17240 番号：17160361

名称：サーバス九州事務局

- 銀行から振り込む場合 送金手数料は有料です。

店名：七二八 （ナナニハチ）

店番：728 種類：普通

番号：1716036 （有料）（これには末尾1不要）

- ◎ 会計担当：H. S.